

4. ハナコトバ

目覚めればそこが現実だって 生まれた時から思い込んで
それがふわりと壊れたら 君は どこに立ってる？

いつでもここは平穏です トラブルだって一つの刺激なんです
寝て起きて食ってまた眠る 今日も繰り返しましょう

ベルが鳴る 揺れるグラスドーム 中身が零れたよ
現と夢 境見失っても 前にしか進めない

時計の針さえ折れてしまって 願いも望みも声にしちやいなくて
うづくまっていたって 暗い光に晒されてるんだ

加減を知らない獣のように 狂い咲く色は星屑を穿って
縫い繋ぐんだ 明日を
届くかな その中に

朝日がいやに暗く感じたんだよ 欠伸も上手く出てこないな
壊れたイヤホン 修理が終わるのはいつになるんだろう

傷付けさせたくないから傷付いて やっとここまで辿り着いて
ゴールの先が振り出しでは 何も 意味がないでしょう

ベルが鳴る 揺れるクラスルーム 涙が零れたよ
初めまして 古い旧い親友 嘘吐きは誰だろう

ドアを叩く 跳ねるプラットホーム 彼女は拒んだよ
雨宿りの 屋根は脆くて
ずぶ濡れになるのもすぐだって 諦めようか 終わらせようか

曇る鏡に影だけ映って 君だと分かっているけど触れられなくて
転んで擦り剥いたって 叫ぶ痛みが上書きするんだ

疑念を持たない赤子のように 染まり散る色は悔恨を縫って
崩れても 明日がまた
僕の背を 越えて行く

止まらない 変わらない 閉じたまま紡がれる物語
つまらない 惜しくない 笑っていて少しだけ
もっとずっと 先の先を 見せておくれよ
いつかきっと 果ての果てを 歩けるから上を向いて

自分の姿も見えなくなって 溢れる言葉を精一杯並べて
無限を悟って折れかけたって 立ち向かうだけの何かが湧き上がって

時計のネジを巻き直したって 願いも望みも声にはならなくて
うずくまった視界を 照らす光がまだ眩しいんだ

所以を知らない悲しみだって くだらない愛を説いても拭えなくて
戻れないんだ 昨日に 分かっている だけど側にいる

歪んだ世界の確かな感触 離れたくないからその手を伸ばして
滲んだ景色を越えて 桜色の光が差し込んだ

加減を知らない獣のように 咲き誇る日々が星屑を穿って
取り戻すんだ 明日を
届けてよ ずっと待っているから

(Brave of you on eyes) 誇りを掲げ
(Brave of you on ears) 奇跡じゃない
(Brave of you on arms) 生き様を背に
(Brave of you on legs) 燃え尽きるまで
(Brave of you on a tongue) 包み輝け
(Brave of you on a voice) 分かち合って
(Brave for your memories) 心を誓い
(Brave of you on a smile) 君に微笑むよ